

|                  |  |              |   |
|------------------|--|--------------|---|
| 授業科目名<br>( 英文名 ) | 専門基礎演習 ( Second-year Seminar )   | 科目区分<br>対象学生 |   |
| 単位数              | 4.0  | 開講年次・<br>学期  | 2 |
| 担当教員             | 石田 潤   | 所属           |   |
| オフィス・場所          |  | 連絡先          |   |
| 講義目的及び到達目標       | 自分の興味・関心に基づいて知識を収集する力、知識をよく整理し自分の考えも入れて自分のものにしていく力、自分の知識や考えを人前で発表する力、人の発表内容や説明を理解する力、人と議論する力、などを養うことが目的であり、それらの力を研究演習や卒論作成などで存分に発揮できる水準にまで高めることが到達目標である。   |              |   |
| 講義内容・授業計画        | ゼミで各自が取り組む課題は次のようなものとなる。<br>自分の興味・関心に基づいてテーマを設定する。そのテーマに関係のある知識を収集する。収集した知識をよく整理し、自分の考えも入れて、レジュメを作成し、ゼミで発表する。発表の際に行われた質疑応答やディスカッションを踏まえ、さらに知識や考えを補い、質の高いものにしていく。以上のプロセスを経て、設定したテーマに関する自分なりのしっかりとした知識のまとまりを作り上げる。<br>各回のゼミは、発表の当番者による発表と、ゼミのメンバーによる質疑応答やディスカッションから成る。<br>設定するテーマの領域・内容等は制限しない。自分の興味・関心に合っていることが最も重要である。 |              |   |
| テキスト             | 指定しない。   |              |   |
| 参考文献             | 必要に応じて紹介する。  |              |   |
| 成績評価の基準・方法       | ( 成績評価の基準 )<br>講義目的に挙げた事柄が到達目標の 60 % 程度以上修得できた者に単位を授与する。修得度に応じて成績を与える。<br>( 成績評価の方法 )<br>平常点 ( 発表の出来栄、発表内容の充実度および完成度、討論への参加度、など )  |              |   |
| 履修上の注意・履修要件      | ( 当然のことであるが ) 毎回出席することが大前提である。   |              |   |
| 実践的教育            |  |              |   |
| 備考               | 人前で発表したり、ディスカッションをしたりすることが好きな人、自分の興味・関心のあることについて、人前で語れるようなしっかりとした知識や考えを身に付けたいと思っている人、を歓迎する。  |              |   |